〇総務建設常任委員長（小川務君）

おはようございます。

令和８年８月 26 日に開催いたしました、閉会中の総務建設常任委員会についてご報告いたします。

まず、総務課から、洪水ハザードマップ（小規模河川）の作成について説明がありました。

香川県が新たに公表した小規模河川の浸水想定区域図等を基に、町内 7 水系を対象とした洪水ハザードマップを作成するとの説明がありました。

マップは A2 サイズ両面カラーで作成し、浸水想定区域に該当する地区へ全戸配布する予定で、令和９年２月 26 日までに完成する予定とのことです。

委員からは、県の浸水想定データの反映方法や、ため池の決壊による浸水との関係について質問があり、執行部からは「県のデータを精査して反映し、今回は大雨による河川の氾濫を想定したハザードマップである」との説明がありました。

続いて、企画財政課から２点の説明がありました。

１点目、町営バス１日乗車券の運賃改定について、町営バス四海線について紅葉シーズンの 11 月に寒霞渓方面への観光客が増加することから、11 月の１か月間に限り、１日乗車券を大人 1600 円から 2000 円、子ども 800 円から 1000 円に改定するとの説明がありました。

委員からは、小学生以下の料金や幼児の取扱い、11 月のみ値上げする理由について質問があり、執行部からは、４歳以下は大人１人につき１人まで無料であり、季節運行に伴う経費増加に対応するためとの説明がありました。

２点目、土庄町公共交通事業継続支援金について、物価や燃料価格の高騰により影響を受けている航路事業者を支援し、海上交通の安定的な維持・確保を図るため、町内の港に発着する５航路５事業者に総額 760 万円を支援するとの説明がありました。

委員からは、運賃値上げを抑えるための事業者への働きかけや、島民割引を検討すべきとの意見がありました。

次に、建設課から３点の説明がありました。

１点目、沖之島離島架橋事業について、現在、第 17 工区・第 18 工区の道路上部工等を施工しており、今後、取り付け道路や転落防護柵、照明、舗装工事などを進め、令和９年３月の事業完成を目指しているとの説明がありました。

また、橋の名称については、沖之島住民による検討を踏まえ、正式に「沖之島橋（おきのしまはし）」と決定したとの報告がありました。

委員からは、道路幅員や車両の通行、南海トラフ地震を想定した耐震性について質問があり、執行部からは「道路幅員は 5 メートルで普通乗用車同士の通行

が可能であり、必要な耐震性を確保した設計としている」との説明がありました。

2点目、渕崎都市下水路事業について、大雨による浸水から住民の生命・財産を守るため、ポンプ場の新設整備を進めており、流入管渠の計画延長は976.3メートルとの説明がありました。

令和8年度は、ポンプ場から四海方面への本線管路布設工事を予定しており、県道内の狭い区域であることから、片側交互通行で施工するとの説明がありました。

3点目、行者原住宅建替事業について、老朽化した町営住宅の建替えを行うもので、既存住宅24戸に対し、建替え13戸、改修1戸、解体20戸及び集会所1棟を新築する計画との説明がありました。

委員からは、建替えによって住宅戸数が減少することについて質問があり、執行部からは、全体として住宅戸数を縮小する計画であるものの、建替え・改修後の住宅には入居者全員が入居できる予定との説明がありました。

次に、農林水産課から2点の説明がありました。

1点目、農業インターンシップ支援業務について、全国の大学生等を対象とした農業インターンシップを実施しており、今年度からは過去の参加者を対象としたリピート農業インターンシップも実施しているとの報告がありました。

5月には8名、7月のリピート農業には5名が参加し、町内4団体の協力のもと、農作物の収穫・出荷や農家との交流などを体験しました。

参加者からは高い評価が得られており、今後も事業を継続し、将来的な農業の担い手確保につなげていきたいとの説明がありました。

2点目、台風6号による農林水産課所管施設等の被害について、令和8年6月2日から3日にかけて接近した台風6号による大雨等により、農道、農業用水路、漁港施設などに被害が発生したとの報告がありました。

農道の路肩崩壊や農業用水路への土砂流入、見目漁港・田井漁港への大量のごみの漂着などが確認され、必要な修繕費については、9月議会に補正予算を上程する予定との説明がありました。

委員からは、災害発生前に危険箇所を予防的に整備するための予算制度について質問があり、執行部からは「特別な事前対策予算はなく、職員による水路清掃などの事前対応を行っている」との説明がありました。

最後に、商工観光課から第44回小豆島まつりについて報告がありました。

地元の子どもたちによるダンスや演奏、小豆島土庄町ふるさと大使によるライブ、アニメとのコラボイベントなどが行われ、町内外から多くの来場者が訪れたとの報告がありました。

来場者数は約4,000人で、リピーターや宿泊者の増加など、地域経済への波及効果もあったとの説明がありました。

委員からは、近年の猛暑を踏まえ、熱中症などの危険性を考慮し、開催時間や実施方法など安全面を含めた開催方法を検討すべきとの意見がありました。

以上で、総務建設常任委員会の報告を終わります。